

理事長 あいさつ

早瀬 隆司



夏が来れば思い出す ♪ ♪

「異様な夏」今年の夏は異様な夏でした。蒸しあげられてしまいそうな暑い日が続く、各地で豪雨が襲い、超大型の台風が次々と押し寄せました。特に気温の上昇は甲子園の高校野球の実施にも疑問を投げかけかねないほどに世間を騒がせました。そして、この夏、今一つ異様なものを見ました。プラスチックに苦しんでいる海の生き物たちの映像です。胃袋や気管がプラスチックに襲われていました。今年の世界環境デーではグテーレス国連事務総長が、2050年には海の中のプラスチックの量が魚の量よりも多くなるというメッセージを伝えられました。上五島にある人の住まない無人島の砂浜でさえもがプラスチックのゴミで埋め尽くされています。異様です。今の子供たちにとっての夏の思い出は、我々と全く違った歌詞で歌われるようになっていくのでしょうか？

長崎県海岸漂流漂着ゴミ活動

深刻な海岸漂着ゴミ問題への広い認識を！

ECAN では早い時期から毎年海岸漂着ゴミへの活動を続けてきています。今年は長崎県と上五島町からの委託で二つの交流事業を実施しました。

長崎県の「2018 海ごみ交流事業」は7月14日～15日にかけて五島市で開催しました。高校生を中心して長崎市、五島市、対馬市、壱岐市及び韓国釜山から約150人余りが参加しました。八朔鼻海岸のゴミ拾いをした後、漂着ゴミを解決するための継続的な取り組みを話し合い、「ナナ宣言」が取りまとめられました。「ナナ」は韓国で「自分たちで」を意味する言葉ということです。

「上五島町海岸漂着物交流事業」は、10月13日～14日に上五島町で40人余りの参加で実施しました。頭が島と祝言島の二か所で清掃をしました。初めての参加者が多く、拾っても拾いきれない無人島のゴミに大きな衝撃を受けたようでした。折しも世界的に海洋のプラスチック汚染問題が取り上げられる機会が増加していますが、知恵を出し合い発生源対策が早急に進められねばならないと思いました。なお、上五島町の事業にはセブン-イレブン記念財団からも助成をいただいたので報告します。



E S D

(ESDは「持続可能な開発のための教育」の略語です)

長崎市立高城台小学校5年生3クラスのESD教育実践を実施しています。

今年度から、5年生に英語教育が導入されたため、ESDは2学期(9~11月)の短期間での学習となりました。9月14日(金)5~6時限「環境と生活のつながりを見つけ、自分の貢献方法を見つけよう！」長崎大学教育学部教授 藤本登先生の出前講座を実施しました。子供たちが環境問題のどんなことに興味があるかを事前調査し、それを踏まえての、講義、実験、体験を組み込んだもので自転車発電や、炭酸ガス臭体験では大いに盛り上がりました。それを受けて9月25日(火)5~6時限には、7つのテーマでミニレクチャー講座を実施しました。10月23日(火)5~6時限には7つのグループ調査、見学、体験学習を実施し、グループまとめのあと11月末に発表です。



〔藤本 登先生 出前事業〕



〔7人のGT ミニレクチャー風景〕

エコドライブ普及事業



○ 6月9日(土)「環境月間街頭キャンペーン」浜の町ベルナード観光通りで、長崎大学海援隊とコラボ出店しました。多くの親子づれの市民や、長崎県環境部長もエコドライブ体験をされました。また、NBC長崎放送アップルの取材及び放送もありました。参加者90名でした。



○ 9月22日(土)西海市大瀬戸総合運動公園体育館の「高齢者と子どもの参加型交通安全教室」にも出店しました。参加者82名の内、何と小学生が78名で、子どもエコドライブ教室でした。

イオン「幸せの黄色いレシート」キャンペーン

毎月11日のイオン・デーには、地域のボランティア団体などの名前と活動内容を書いた投函ボックスがチトセピアに置かれています。この日、お客様がレジ精算時に受け取られた黄色いレシートを応援したい団体のボックスへ入れていただくと、お買い上げ金額合計の1%が地域ボランティア団体などに希望する商品で寄贈されます。チトセピア(長崎市住吉)地下1階にて毎月11日に活動しています。会員の皆様もお買い物の際には、黄色いレシートを当NPO法人のBOXへ投函お願いいたします。

インドネシアで有機性ゴミの分別とエネルギー利用

公益信託経団連自然保護基金が採択され、インドネシアジャカルタの Lenteng-Agung 地区（500 世帯の密集した長屋）で家庭からの廃棄物の分別回収を指導しています。そして有機性の廃棄物を利用してメタン発酵によるエネルギー回収を計画しています。11 月には現地へ専門家を派遣してメタン発酵施設のデモンストレーションと分別回収されたごみの発生量調査を実施する予定です。



Lenten Agung の住宅密集地



有機性廃棄物回収活動の試行的実施

バイオマスエネルギーの熱利用で気候変動対策

〈長崎でも木質バイオマスボイラーを〉

気候変動政府間パネル（IPCC）の総会が今年 10 月に開かれ、最新の科学的知見に基づいた「1.5 度特別報告書」が採択されました。それによると、世界の平均気温は産業革命前よりすでに 1 度上昇しており、現状のままでは 2030 年から 52 年の間に、1.5 度に達すると予測されています。環境カウンセリング協会長崎では、長崎市の二酸化炭素の排出量削減計画に貢献するため、長崎に豊富に存している森林資源を活用した木質バイオマスボイラーの利用のための仕組みづくりに取り掛かっています。「木を集め」、それを「熱に変え」、「利用していく」、ためには多くの分野の連携協働が必要です。難しい課題ですが、成功すれば、地域の雇用や活性化にも結び付く大きな果実が得られるものとワクワクしています。



8 月 27 日 木質バイオマス関連施設視察



9 月 28 日 助言委員会

長崎市や市民団体と協働でクールチョイス事業

クールチョイス運動は CO2 排出量をパリ協定に基づく我が国の国別目標に向かって大幅に削減するための省エネ・低炭素型の製品／サービス／行動などあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。長崎市でもこのクールチョイス運動を進めています。ECAN はこれに協力して、環境マイスター育成の取り組みを進めています。今年も、日本自動車販売連合会長崎県支部と力を合わせて、自動車販売店での環境マイスターの育成認定研修（10月4日）やフォローアップ研修（10月11日）を行いました。

エコアクション 21 の活動ニュース

- EA21 自治体イニシアティブプログラムを7月18日に長崎市で、また7月27日に佐世保市で開催し、広報活動を行いました。
- 新ガイドラインに基づくエコアクション 21 地域事務局の承認登録説明会が7月22日に東京で開催されました。

2070 年の Nagasaki を想う会 次世代のために！

環境コンサルティング協会長崎では毎月、いろんな分野の活動をなさっている方からのお話を聞いて語りあう場を持っています。2070年に生きている次世代の人たちの長崎にどうつながっていくのかを学びあう場です。会員の方にメールでご案内します。喉も潤いますよ。

平成 30 年度会費納入のお願い

会費・寄付募集中！環境についてともに考え活動しませんか？

環境コンサルティング協会長崎は、事業者、学術機関及び行政のパートナーシップの形成を図り、それぞれの環境への取り組みを支援することを目的に設立されました。環境に配慮した社会を根付かせ、人と自然が共に生きる心豊かな長崎を次世代に引き継いでいくために、企業、団体、学術機関、行政そして市民としてそれぞれの立場からのご支援とご協力をお願いいたします。

会員の種類	入会金	年会費
個人会員	1,000円	3,000円
学生会員		1,000円
企業会員		10,000円
団体会員		3,000円
賛助会員		一口5,000円以上

振込先

特定非営利活動法人
環境コンサルティング協会長崎
十八銀行 県庁支店
普通預金 0051154

ECANつうしん No.8

発行：NPO法人環境コンサルティング協会長崎

TEL：095-818-3305

住所：長崎市五島町3-3 プレジデント長崎206号

FAX：095-826-3693

E-mail：jimu@npo-ecan.org

URL：http://www.npo-ecan.org/

編集 早瀬・宮原・山田・牧